

# 週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 5 年 1 月 10 日



## 豊中ロータリークラブ

第 2962 例会

第 2557 号

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2022～23 年度  
国際ロータリー会長  
ジェニファー E. ジョーンズ  
(Windsor-Roseland RC)



2022.7～2023.6  
会 長 都井正剛  
副 会 長 武枝敏之  
幹 事 岩本洋子  
雑誌・広報・会報委員長  
澤木政光

本日（ 1 月 10 日）のプログラム

「私の好きな数字」 0123  
456  
卓話担当：宮田幹二 789

次回（ 1 月 17 日）のプログラム

「ロコモティブシンドローム（ロコモ）」  
卓話担当：吉川秀樹

### ★会長の時間★

「会員の役割」

2022-23 年度 会長 都井正剛

ロータリー会員特に新会員一人ひとりがクラブにもたらすスキル、経験、熱意がそれぞれの地域にそして世界に変化をもたらします。会員が一体となればポリオを世界からなくし、平和の担い手を育て、疾病、飢餓、識字、貧困といった問題を少しずつ解決できるでしょう。

交流を通じ、アイデアを広げ、社会奉仕をともにする人たちとの友情を築くのがロータリーのコミュニティです。

クラブのプロジェクトや活動に参加し、そのロータリーでの経験が自分と周りを実り豊かにするでしょう。例えば自分の知識やスキルを活かせるクラブ委員会に参加する。地域社会のニーズを突き止めそれに取り組む参加型奉仕活動を提案する。クラブが提唱しているローターアクトやインターアクトを支援する。青少年交換留学生の世話をする。RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）のイベントを企画する。同僚や友人に入会を勧める。

もっと多くのロータリアンと出会う。日本だけでなく海外でも知り合い・友人をつくる。など会員一人ひとりがやれることをしていきましょう。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内  
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011  
例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より  
事 務 局：10 時～16 時（土日祝を除く）  
HP アドレス：[www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/](http://www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/)  
メールアドレス：[jtrc2660@sun-inet.or.jp](mailto:jtrc2660@sun-inet.or.jp)

## 例会出席報告☆

	第2961回	第2958回
例会日	1月7日	12月6日
① 会員数 A	34	34
(内出席免除者)	8	8
② 出席義務者数	26	26
③ 出席義務者出席数	14	19
④ 出席免除者出席数	6	6
⑤ メイクアップ数		0
⑥ 出席義務者欠席数	12	7
出席率 %	62.50%	78.13%

出席率 (2961回) ③+④/②+④ 出席率 (2958回) ③+④+⑤/②+④

## 幹事報告

### 国際ロータリー第2660地区より

「ロータリーの友1月号 推奨記事と関連記事のご紹介」が届きました。

「2022-23年度【地区資金 後期分】お振込のお願い」が届きました。

「2022 学年米山奨学生終了者 終了式・歓送会の案内」が届きました。

「1月 職業奉仕月間 リソースのご案内」が届きました。

「ガバナー、ガバナーエレクトから年賀状」が届きました。

## 掲示板

### 職業奉仕セミナー

日時：2023年1月18日(水) 17:00~18:10

参加方法：ZOOM ウェビナー

### ロータリー財団補助金管理セミナー

日時：2023年1月28日(土)

場所：大阪YMCA会館

### 第8回定例理事会

日時：2023年2月7日(火) 例会終了後

場所：ホテルアイボリー 例会場

※新旧理事会となります。

### 職業奉仕フォーラム

日時：2023年2月28日(火) 例会終了後

場所：ホテルアイボリー 例会場

## 1月のお祝い

- ・ご入会記念日 米田 眞会員 H. 8. 1. 9
- ・会員誕生日 中井 稔会員 S. 7. 1. 1  
豊島了雄会員 S.28. 1.28  
田畑榮彦会員 S.30.1.6
- ・ご結婚記念日 佐川正治会員 H. 3. 1.13  
武枝敏之会員 S.50. 1.19
- ・ご夫人誕生日 眞下 節会員 啓子夫人  
1月2日  
狩野 裕会員 尚美夫人  
1月19日



## 新年互礼会ご参加の御礼

2023年1月7日(土) ホテルアイボリー 隣「新免館」に於いて新年互礼会を開催いたしました。ご参加の皆様ありがとうございます。

下半期も今までと変わらぬご協力をお願い致します。

今年もどうぞ宜しくお願い致します。

会長 都井正剛  
幹事 岩本洋子

## 12月20日の卓話

「老医のつぶやき」

卓話担当: 木村正治



昭和2年(1927年)生まれの私は、現在95歳ですが、昭和26年医学部卒業後1年間の実地修練を経て医師免許取得から今に至る70年間、診療に従事して参りました。

目を見張る著しい進歩の医学医療の現状に、口をはさむ何ものも有しないが、昔話なら当クラブ会員諸氏のご経験のないこととして、興味を持たれるのではないかと思います。

所謂十五年戦争は、昭和6年(1921年)9月8日の柳条湖爆破事件を契機として起こった満州事変に始まり、昭和16年(1941年)12月8日のハワイ真珠湾攻撃にて太平洋戦争に突入、米、英、支、蘭と交戦しましたが、昭和20年に入り東京・大阪・神戸など各大都市が夜間大空襲(焼夷弾)にて焦土化。次いで広島・長崎への原爆投下、米軍沖縄本島上陸も続き、昭和20年8月15日の天皇陛下の戦争終結の玉音放送により無条件降伏となった。

以後我が国は、マッカーサーを最高司令官とする連合軍総司令部(GHQ)の指揮下に入った。そこで医師免許を取得するには一年間の実地修練と医師国家試験の合格を要すること、次いで学制(6・3・3・4)などが決められた。

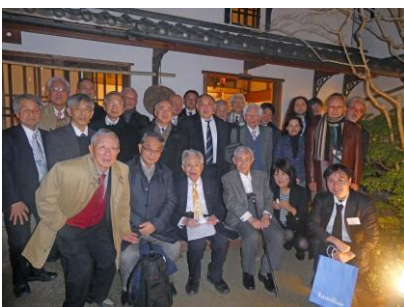
戦時中よりの食糧難、一番の必需品である「米」の配給は終戦時(昭和20年)1日2合1勺に過ぎなかった。

医療現場でもこの貧しさは同じで、医療材料で使用したガーゼ・包帯はクレゾール石鹼液で煮沸消毒して再生使用、注射針は切れが悪くなると鑿で砥いで使用した。入院患者があると、自分で生化学的検査・胃液検査もせざるを得ない多忙を託っていた。輸血が必要な時にはスペンダー(供血者)を呼んで100ml乃至200ml採血し、その場で“売血代”を払っていた。また当時、暗室でのレントゲン検査を行う際には、早くからサングラスを掛けて眼を慣らし、鉛入りの大きな手袋を使用して診断を行った。夜間の宿直時の救急患者の血液検査も当時は抵抗なく行っていた。

以上のような時代より既に半世紀以上が過ぎた今、医学医療の進歩、それに伴う病院内の各部門の充実は著しい。CT, MRI, PET, Echo等の検査による診断能力の向上、それに基づく内視鏡、腹腔鏡、胸腔鏡による、或いはロボット支援による低侵襲手術が行われている。嘗ての外科医の私も平伏するばかりである。

しかし医師の花形(勝手に思っている?)である外科医希望者が頓に減ってきていること、また診療科偏在における外科の問題まで報じられている事実、その及ぼす影響を危惧している今日である。

## 新年互礼会写真



都井会長新年の挨拶



Emreさんの研究指導教授の中澤康浩先生が来られました。